

## 中学生の部 入賞

### 「僕の自慢のお父さん」

僕のお父さんは、朝から夜まで働いています。ここだけを見たらごく普通のお父さんです。でも、僕にはお母さんがいません。小学校一年生の時に病気でお母さんは亡くなってしまいました。その当時は、お母さんがいなくなって毎日悲しく思っていました。でも、お父さんは最愛なる人がいなくなって一番悲しいと思うのに、僕の前では涙を流さず堂々としていました。あとからおばあちゃんから聞いた話だと僕がいない時は、大泣きしていたことを聞いて、男らしいなと思いました。

お母さんが亡くなって、二人で今まで生きてきました。勉強で点が低かった時は、教えてくれたり、サッカーの自主練に毎回来てくれたりといろんなことをして疲れがたまっているのにも関わらず僕のことを思っていてくれました。僕も中学二年生。今度は自分がお父さんを支えていきたいです。お父さんに心からありがとうと伝えたい。

三重県松阪市 中学2年生

よしだ かずま  
吉田 和真さん